

おお大勝利

平成 24 年度山東サッカー部報第 15 号 (9 月 12 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

地区新人3位 予想を覆す活躍！

9月8日(土)、9日(日)と地区新人戦が行われました。山東は6月から新人チームで戦っており、3年生が残っていて新人チームとしての強化が図れていないチームよりもチーム成熟度は上のはずですが、Y1にてかなり内容・結果ともにすぐれない現状だけに、「Y1では・・・だが、新人戦では・・・」という強気の気持ちになれないでいる。前号にて書きましたように「今年は県新人に行けないのでは・・・」という不安がよぎる。しかし、ここ数年を見ると、県総体よりも県新人の方が結果が良いことが多く、「進学校は県新人に強い」を地でいく成績の山東¹。本来は県総体で強さを発揮したいですが、今までのところ残念ながらそんな流れがある。今年はどうなることやら、不安な気持ちのまま地区新人を迎えました。

8日(土)山形中央グラウンドにて初戦天童高校。8月に練習試合をしており、その時は酷暑の中、ひたむきな姿勢を感じたチーム。まず目の前の一得点を狙い、一失点を防ぐことに集中させて試合に臨む。**校長先生も会場に足を運んで下さり、部報にて連続して「悲報」に接している山東選手諸君の応援をして下さる。**否が応にも気合が入る。すると、キックオフから山東の攻勢が続く。8月の天童高校との練習試合を含め、最近練習試合でもこんな一方的な展開は見たことがない気がする。攻撃はシュートまで結びつく形が多く、あとはネットを揺らすだけ。ポン、ポン、ポーンとシュートが決まり、前半の内に5得点。前半の内に選手を入れ替え、後半もどんどん交代選手を投入し、それでもバックアップメンバーの2年生が頑張り、後半も3得点で、計8-0の勝利。**スタメンを早めに休ませることができたのと、公式戦になかなか出場できずにいた2年生を(欠席者を除く)全員出場させることができたのとで、大満足の試合。**

試合後、保護者の皆さまへのあいさつの際に、つい口を滑らせ、「次で(県新人出場を)決めます」と宣言してしまう。次の試合の相手は、やはり、第二試合でY2在籍の山形明正を相手に横綱相撲で勝った山形中央。「ちょっと調子に乗って口滑らせたな～」と後悔しても、後の祭り。

さて、第二試合山形中央。GK・DF・MF・FWいずれのポジションにおいても3年生のチームで活躍している2年生がいる。地区新人も優勝候補の一角。試合展開

¹ 例外は、山東59回卒のカオルの代。地区新人で負け、県新人に出場できませんでしたが、県総体では3位に入り東北選手権に出場しました。61回卒のコウスケの代も例外。県新人・県総体どちらも2位と活躍できました。あとはナオヤの代(58回卒)、キジマの代(60回卒)、タダの代(62回卒)ともに県新人の成績の方が上回っている。あ・・・ショウタの代(63回卒予定)は県新人初戦敗退、県総体ベスト8なので、これも例外と言えば例外ですが、16チームしか出場しない県新人の初戦敗退と県総体ベスト8とでは、あまり大差ないですね。

は個の力に優る山形中央優勢。山形中央は GK-DF 間で丁寧にパスを回しサイドチェンジを図りながら攻め立てる。ただ、攻められるものの、ゴール前で決定的なピンチは作らせず、粘る山形東守備陣。Y1 では粘りのなさを嘆くばかりでしたが、CB1 枚・SB2 枚を入れ替え、かつ、これまでのボランチを SH に配置し守備的な選手 2 人をボランチに配置する「奇策」が功を奏したか、前半 0-0 で折り返す。そして後半にゲームが動く。左サイドから斜めに突破し (penetrate し) ゴールに向かったリクがファーサイドにシュートすると、すばらしい山形中央 GK が何とか弾くも、ボールがこぼれたところにいたのはコテッチャン。難なく「ごつつあん」、山東先制。しかし、直後の山形中央 FK にて、大きくクリアできず、ゴール前で混戦になったところを詰められて、同点に。その後も山形中央の攻撃が加速し (というか山形東の粘りにも疲れが見え始め)、残り時間 3 分という苦しい時間帯で (疑惑の) PK を与えてしまう。しかし！ **高校から GK を始めた我らがヒテアキが、PK を止め、PK 合戦突入。その PK 合戦でもヒテアキは PK を 2 本止め (相手が外したのではなく)、PK を計 3 本止める殊勲の働きで、勝利に貢献。**宣言通り？初日で県新人の切符をゲット。

「出来過ぎだな～。そういえば、今年の地区総体も優勝したし、一昨年地区新人でも優勝している。それでもって県大会では活躍しきれない流れが続いている。今回勝ったのはうれしいが、**地区大会で強いのではなく県大会で強いチーム**にならないとな～」などと、「**地区大会の山東 (そして県大会ではすぐ負ける山東)**」という「汚名」をつけられやしないか、不安になっていたら、やはり、村山地区の某強豪高校の J コーチがそのようなことを言っていた、という告げ口が、土曜夜、村山地区顧問のゲームメーカー M 先生によりもたらされる。県大会でも頑張ろうと決意を固め、翌朝を迎える。

準決勝の相手は東海大山形。Y1 で独走しているチーム。昨年選手権 2 位、今年の県総体 2 位、天皇杯県予選 3 位と、1 位になり切れないものの安定した力を発揮している。特に、選手権・県総体で苦杯を嘗めさせられた羽黒を、今年の Y1 にて 3-0 で一蹴しているところに、充実ぶりがうかがえる。ただ、この大会は新人戦。山東も早くに新人チームに切り替わっているアドバンテージを活かしたい。試合が始まると、山形中央より一段高い MF の位置で左右にサイドチェンジされ、アウトサイドからどんどん攻め立てられる。しかも、**一番すごいと思ったのが、DF のクリアがごとごとく攻撃につながる。**アバウトな大きなクリアも、しっかりとハーフウェイライン付近のタッチライン沿いに蹴られるものだから、前線に残っている FW の予測にピタリと合い、守備と攻撃がリンクする東海。山東からすれば、よし押し込んだ、と思ったら逆に守備のため懸命に戻らなければならず、非常に苦しい。しかも、上下左右に移動し続ける体力とメンタリティが素晴らしく、自然に押し込まれていく。**やはり、近年の東海は、スーパーコパ²を繰り返す中で日大山形の良いところを吸収して、伝統の巧さに強さが加わった印象あり。**要は隙がない。後半の入りところでスルーパスを通され、GK との 1 対 1 も冷静に決められ、失点。そして、結局チャンスらしいチャンスを結局作らせてもらえず、0-1 で敗戦。力の差を感じましたが、最少失点差の負けですし粘りある戦いはできたと思います。

² 東海大山形高校サッカー部のブログをフォローしていると必ず登場しますので、検索してみてください。

9日2試合目の相手は山形城北。山形3位をかけた争い。ただし、プライドがかかっているだけではなく、この勝負に勝った方が県新人の第4シードを獲得することになっている。試合が始めると、お互いに、雰囲気やや緩い。やはり、お互いに県新人は決まっているし、2試合目だし・・・ということでお互いにガツガツしたところが欠け、プレスが弱い分、お互いの攻撃が機能する、といった印象の前半。前半の前半は城北ペース、後半は山東ペース。その山東ペースの時間にしっかり得点し、1-0で折り返す。後半は時間が経つにつれ、城北ペース。山東は勝っているので受け身になった、というより、後半足と頭が止まる最近のいつもの流れが出たか³。いつ失点してもおかしくないというチャンスも与える。ただ、山東もチャンスは作るので、やられてばかりという訳ではないが、ともかく、どちらが勝っているチームか分からない展開。**結局、相手がシュートを外してくれたのもありますが、ゴール前で体を投げ出して守ったシーンも多く、失点ゼロに抑え込み、1-0の勝利。**

大会が始める前は県新人に進めるか不安だったのですが、終わってみれば、3勝1敗の立派な成績。Y1で袋叩きにあっていた経験も無駄ではなかった、と思わせられる。**私の高校時代の恩師にして、サッカー部2年のサチクの親戚にあらせられるサ〇〇先生からも、（東海戦をご覧になった感想として）山東の頑張りを褒めていただきました。**これで**9月16日（日）保護者会主催の県総体・選手権激励会**にも弾みがつくというもの！！保護者の皆さま、よろしく申し上げます。ただ、「本番」は県大会ですので、これから頑張ります。まずは、今週末、Y1の2連戦がありますので、応援よろしく申し上げます。

9月15日（土）Y1 山形商業戦 10:00 キックオフ @上山明新館 G

9月17日（月）Y1 山形中央戦 10:00 キックオフ @上山明新館 G

なお、右に、9月11日（火）主将ヨシタカが引き当てた**選手権の組合せ**を掲載します。ちょっと早いですが、山東サッカーOB会HPには、11月3日から開催される**県新人の組合せ**も掲載する（というより後藤報道局長に掲載してもらおうようお願いする）ので、少し早い県新人の予定は紙媒体ではなく電子データでご覧下さい。

³ 新人チームになり、前半よりも後半が良かった、という試合は、恐らく一度もありません。前半「行けるぞ」と思わせて、後半崩れるのがパターンです。